明治三十一年六月十八日印刷
明治三十一年六月二十日發行

婦人衛生雜誌

第百參號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第百三號
目次

講演
●消毒法に就て　製藥士 田原良純君
●血清療法に就て　田代亮介君
衛生叢談
●妊娠心得草
●衣服の事
●痛風と急性關節僂痲質私との別
●妊娠に適宜の運動をなさしむるの良否
●フォルムアルデヒート瓦斯
●人体に要する食塩
●東京府民の飲食する牛乳と獸肉
●寢室の注意
●健康と食物
●脂肪質の食物に就て
●質疑應答　二件
●大日本婦人衛生會記事
●廣告數件

大日本婦人衛生雜誌
第百二號
目次

講演
●食物に就て　陸軍一等藥劑官 恩田重信君
衛生叢談
●病婦へのさとし草
●初生兒の保育
●二三の素人療法
●初生兒の疾患
●針治に就て
●新潟支會講演
哺乳兒の消化不良に就て　水野欽君
●質疑應答　數件
●大日本婦人衛生會記事
●新潟支會記事
●廣告數件

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◉七八月集會休會廣告

本會規則第十四條に依り七八月兩度の集會は例に依り休會致候間右御了承相成度候也

但婦人衛生雜誌は七八月共相變らず發行配布可致候也

明治三十一年六月

大日本婦人衛生會

◉地方會員會費未納者へ廣告

每年八月は總會準備の爲收支決算會計帳簿整理の事ゝ内定相成り居候間地方會員にして來八月迄の**會費未納の方**は是非共此際**來七月三十一日限**り本會事務所（下谷區練塀町四十三番地）宛至急御送附有之度此段及御請求候也

追而會費送附方は郵便小爲替にて**東京神田佐久間町郵便取扱所**へ拂込まれたし若し郵劵代用の場合には總て一割增とす

明治三十一年六月

大日本婦人衛生會

會計係

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

婦人衛生雜誌第百參號
（明治三十一年六月二十日發行）

講演

◉消毒法に就て

製藥士　田原良純君演説

今日は近來の發明にかゝる最新式の消毒法の御話をいたしますつもりで御座います、去る三日の時事新報を見ました處が、當年の初發虎列剌が深川に發生した、而して其虎列剌は餘程激性の症狀で即日死亡したと云ふことで御座います、左れば本年も追々傳染病の流行する時期に向つて來るので有りますから今日消毒法の御話をいたしまするのも決して不必要の事ではないと信じます。

從來は熱氣消毒法、藥劑消毒法と斯樣に二通りの消毒法が御座いまして、傳染病流行の際には怠らず消毒法を行ッて居りますが、其内物品を消毒するに最も、弘く行はれて居りまするのは熱氣消毒法でございます、あつい蒸氣を物品に觸れさせて消毒をするのでございます、元來消毒の目的は皆樣も御承知の通り傳染病には虎列剌、窒扶斯、肺病、實扶垤里亞、赤痢、「ペスト」等、種々有りますが此病因はいづれも小さな顯微鏡であければ見えぬ程の細菌の種類のもので有ります、即ち消毒の目的は此傳染病の原因たる小さき細菌を殺しさへすれば宜しので有ります。

然るに熱氣消毒法を行ひ直ちに物品を蒸氣に觸れさせますと、病毒たる處の細菌は死にますけれども、如何せむ物品が痛むと云ふ弊害が有ります、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

消毒法に就て

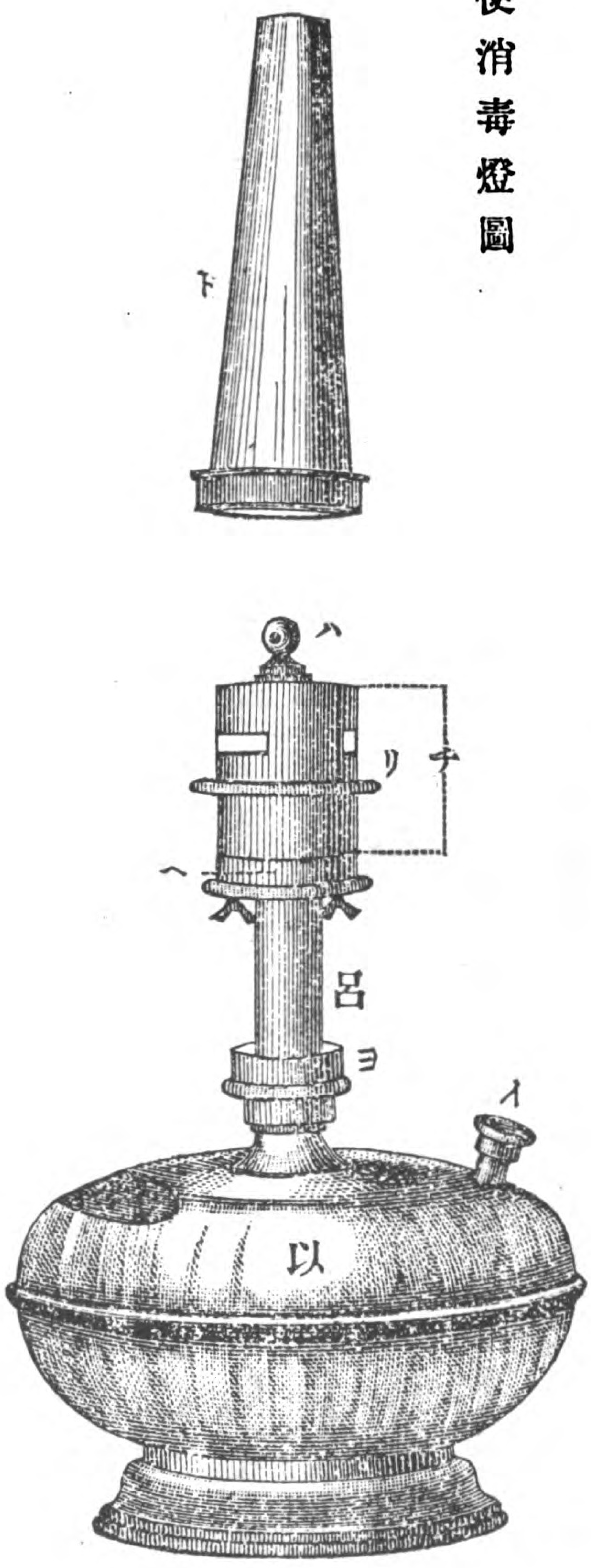
どうも貴重なる品物、或は美麗なる友染等は消毒に懸けると色が褪め、或は地質が傷みまして、消毒の目的は達し得ても同時に貴重の物品を破し、或は惡るくする弊害が有る、粗末なる物ならば宜いが、高價なる物を斯樣に損じては大へんに不都合である。まだ色が褪め損ずる位ゐなれば宜いが、物に由ッては消毒の出來ないものがある、すなはち毛皮、革製品類、鼈甲の櫛、簪、紙製品等は熱氣消毒に懸けると滅茶々々になッて了う、故に斯樣な物は消毒することが出來ませぬ、それで傳染病の流行する時に於ても熱氣消毒の出來ないものは危いと知りッヽ消毒せずに置くと云ふやうになッて居る。併ながら鼈甲の櫛とても患者に觸れた以上はやはり病毒は附いて居るものと見なければならぬ、其病毒の附いたものを其儘に置くといふのは不安心で有ります、況んや物品は未だ可いが病人患者の臥して居ッた室内の消毒に於て熱氣消毒法は甚だ困ります、どうも室内に蒸氣釜を持ッて來てドン々々沸かすと云ふことは出來ませぬ、無據から昇汞水、石炭酸水等を以て天井、柱を拭くのですが、無論拭くのは隈から隈まで能く屆くと云ふ譯には參りませぬ、然るに細菌は一寸とした木の破目又は合せ目の隙へも這入ッて居らぬと云ふことはない、且ッ又襖、天井、壁等の奇麗な所を、濕々したもので拭くと損せられ、或は紙の色が褪め、或は破れる等の弊害が有ッて誠に不完全で有ります。ソレで是れまでも多くの人が考へて、消毒をするのに一番都合の好いのは瓦斯である、何か燻ずるとかして瓦斯を以て消毒する工夫はないか、どうか左樣なものが有れば宜いと云ふ希望

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を以て已に硫黄を燻べ或は「コロール」瓦斯を製して消毒したこともありましたが、夫等の瓦斯は品物を損じて可けない、硫黄を燻ずると金具類は腐ッて了う、「コロール」瓦斯もその通りで有ります、ソレのみならず夫等の瓦斯は細菌を殺す力も充分無いので今日は廢ッて行はれませぬ、ソコで瓦斯であッて左樣な弊害がなく輕便に消毒の出來るものが有れば物品の消毒は固より患者の臥して居つた處の消毒も出來るから大へんに都合が宜いと云ふので今日迄人々が研究して居りました然るに近頃に至ッて其瓦斯を發見しましたソレハ「フォルムアルデヒッド」瓦斯と言ひまして、是れは木から採ッた「アルコール」即チ「メチールアルコホール」一名木精を或一種の方法で燃して生じたる瓦斯で有ります、此瓦斯が大層細菌を殺す力が強い、昇汞が大層殺菌の力が強いが、昇汞より尚一層强き殺菌力を持ッて居る、加之硫黄を燻して出來る亞硫酸瓦斯とは違ッて如何なる物品に觸れてもその品物を傷めると云ふ憂ひはない、品物は破損しないで、殺菌の力の强いと云ふのは大へんに輕便なるもので有ります、而して此瓦斯を以て消毒をするのに就て先つ其瓦斯の製法は、歐羅巴邊でも學者が研究をして種々の道具を拵へたが、どうも今日まで好い道具が出來ませぬ、私も先年來どうか瓦斯を製する便利なる道具を拵へたいと思ッて段々研究をして居ッたが、つひ一昨年比になッて便利な道具を拵へることが出來た、ソレを消毒燈と名けて世間に發表した處が、幸ひに便利なる道具であると云ふ公評を得ましたのでございます、故に今日はその道具を皆樣の御覽に入れ併せ

て使用法をも說明致さうと思ひます。其道具は茲に据置いてございますが、即ち斯樣なものでございます、

輕便消毒燈圖



○器械の說明並使用法は田原氏消毒燈使用法に詳らかなり就て參覽あれ

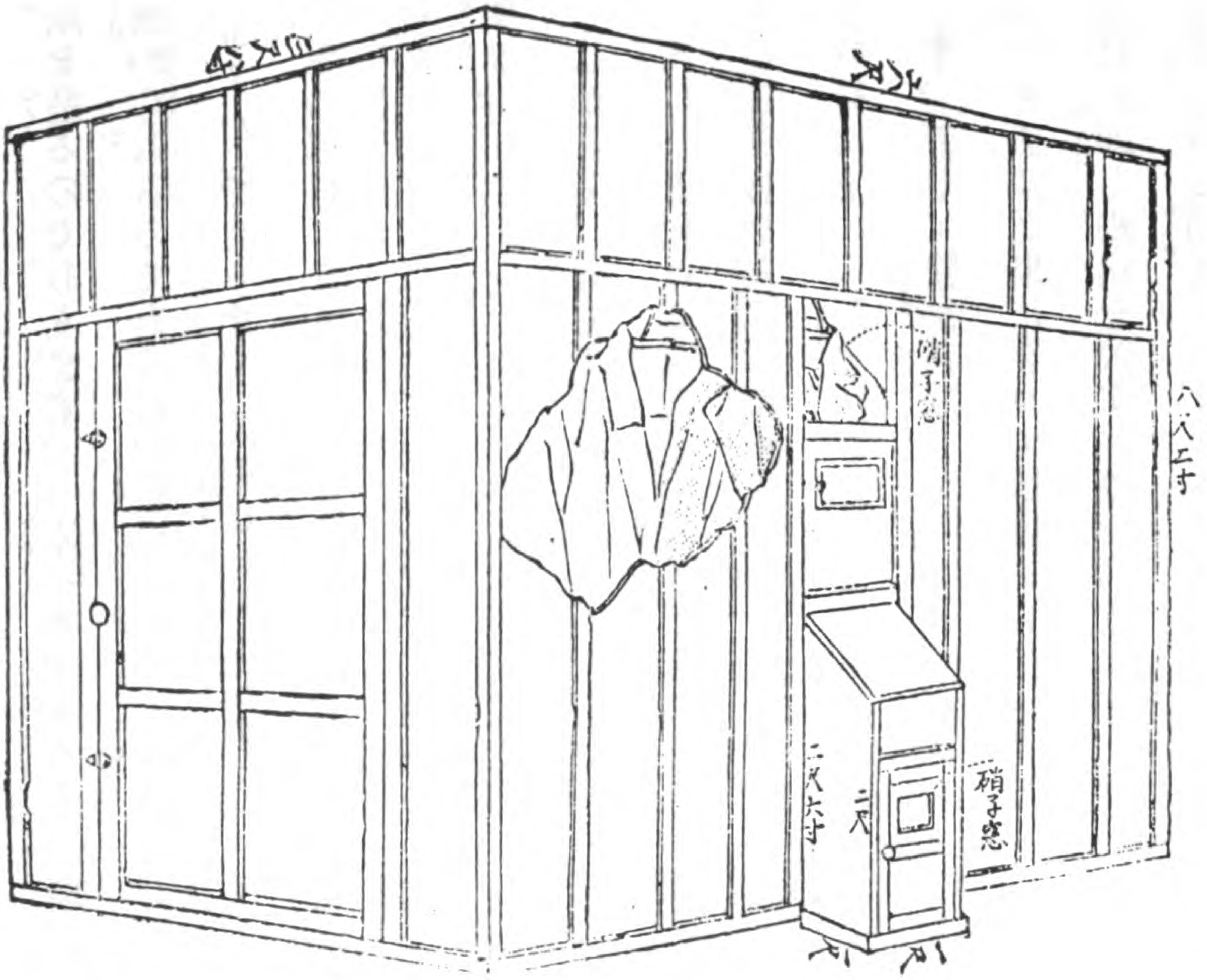
Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

即ち此消毒燈を用ひ「メチールアルコール」を燃して瓦斯を造るのであります、一体「アルコホール」は酒から取るのであるが、是れは木から採る「アルコホール」で有ります、此藥は日本で採取て、是れが消毒の原料になります、此品を斯う云ふ器械の油壺の中に入れて燃して瓦斯を造るので有ります（藥品幷に器具を示さる）斯樣に傍に藥を容るゝ口（イ）がある、而して此處（チ）に石を置いて其上に烟出（ト）を掛ける、此上の溝（ヨ）のやうな處にも同じ藥少しを入れ、火を点んじて燃え切ッて仕まう時分に上から息を吹き込みまするど器械が働きます、而して藥が蒸騰して「フォルムアルデヒット」と云ふ瓦斯になッて烟出からドン／＼出る、是れが即ち細菌を殺す瓦斯で有ります、油壺の中に藥の有る間は「フォルムアルデヒット」

と云ふ瓦斯が生じます。此瓦斯が虎列剌、窒扶斯、肺病、實扶垤里亞、赤痢等の病菌をも忽ちに殺して了ひます、而して又其瓦斯が物品に觸れましても一向其物を損ずるの弊害が御座いませぬ、然し此瓦斯で以て物品を消毒致しまする時には只室內で瓦斯を立てますと、此瓦斯は刺戟をする性質が有るものから目鼻等を刺戟する、故に人の居る處では仕惡い、ソコで斯樣な函を拵へて函の內で器械を働かせ、衣服夜具などの如きものも此函の內に三時間も入れて置くと消毒が出來ます、で私は先づ初めに果して此瓦斯に種々の病毒を殺す力の有るか無いかを試驗した、ソレにも此函を以てしたので有ります、その結果は如何と云ふに、簡畧に申して見れば此函に就て函の容積一〇〇立方尺に付き彼の藥を一合の割合で燃します、藥一合は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

消毒函之圖



丁度一時間で燃え切りになる、輙ち器械を一時間働かせて函の中に各種の「バクテリヤ」を容れて置き後之を取出して其「バクテリヤ」が活きて居るか死んで了ッたかの試驗をしました、その試驗の方法は專門家でなければ解らず、又必要もありませぬから申しませぬが、其結果は則ち左の通りで有ります

消毒燈効力の試驗

一虎列剌菌	二分
一實扶埿里亞菌	十五分
一釀膿菌	十五分
一窒扶斯菌	二十分
一脾脫疽菌芽胞	二時間

以上容積百立方尺に付木精一合ノ割合

一肺病結核細菌　　十五乃至二十四時間
以上容積百立方尺に付木精〇、二合の割合
一赤痢菌　　三十分以内
以上容積百立方尺に付二、三〇合の割

で此醸膿菌と云ふのは先刻佐藤醫學士が創の膿むのは「バクテリヤ」が一定の温度に遇ッて繁殖して膿が出來ると言はれたがソレが即ち此醸膿菌と云ふもので有ります。脾脱疽と云ふのは人間には無い病ですが牛馬に取ッては非常に恐るべき病氣で有ります、芽胞は卵でありまして、則ち病氣になる種子が皮を被ッて居るから容易に死なぬのであるが、けれども二時間も此瓦斯にかゝりますと、竟に撲滅されて了ひます。又肺結核菌は私の試驗ではない、西洋人の試驗の結果を、私はあちらの新聞から取ッて引例にしました、是れは十五乃至二十四時間で殺菌することを得ると云ふことで有ります、最も西洋人の試驗は二勺の木精故かやうに長く懸るのであるが、私の試驗の如く一合にすると二三分間で死ぬに違ひないので有ります。赤痢の病因は是れまで黴菌で有るか無いか不明で有りましたが、北里博士の傳染病研究所で赤痢の「バクテリヤ」を近比發見されました、ソレを北里博士の助手川地三郎君が此函の中に入れて試驗をし呉れました處が、前に述べたる通り百立方尺に就て二合程薬を用ひると三十分以内に取出して既に死んで居りました、實際は十五分か二十分にして死んだのであるかも知れない、兎に角斯様に大へんに効能の強い瓦斯で有ります而して斯様に効能の強いにも拘らず、物品に害は少しも無い、餘程重寶なる消毒の方法で有ります、果して物品

に害が有るか無いかと云ふことは色々の試驗をしたが、皆「バクテリヤ」は充分殺して居ッて物品に害は無い、併ながら尚ほ私は之を確めまする爲めに何樣に色々に染めたる絹布を少しばかり取つて此瓦斯にかけ、昨年一ヶ年の間其儘に抛ッて置きましたが色も地質も變はりませぬ、色も地質も變はらぬと云ふことは私が保證をして宜い位に、誠に確かに誠に安全なもので有ります。ソレから毛革類も却て毛が拔けない樣に強くはなるとも一向傷む恐れはない

さて此瓦斯がどうして衣服の中にまでも這入ッて往くかと云ふに、一体多くの瓦斯と云ふものは空氣より重いものであるさう云ふ、瓦斯は地を這いッて居るものであるが、此瓦斯は空氣と重量が同じでありますから、如何なる隈隅にでも這入ッて往く其證據は繭の蛹が活きて居る時分に此瓦斯に觸れさせますと、なか〳〵此繭の中に瓦斯が這入りさうも有りませぬが、矢張り此中にも這入ッて往くものと見えて蛹が直ぐ死んで了う、此瓦斯に觸れると繭から蝶が一匹も出ない。又鷄卵を此瓦斯に觸れさせると、あの硬き外皮を徹ッて往くものと見えて丁度鷄卵がうでた樣に黄身も白身も固くなッて居る之を觀ても此瓦斯の黴菌を殺す力の確なる事が解ります

ソレならばどうして實地に消毒をするかと云ふに先刻も申しまする樣に此函で有りますれば一合若くは半「ポンド」位此「メチールアルコール」を油壺(以)に入れ、前に述べた樣にして燃え出た處で、此處(函の右側に續接したる小箱)に入れて置きます函内には前以て衣服なり書畫あり、何

でも消毒しやうと思ふものを折釘に懸けるなり置くなりして、一合故一時間此消毒燈を働かせて、あと二時間其儘にして置くと悉く消毒が出來ます其後は品物を直ぐに御遣ひになッても一向差支有りませぬが、その品物が御不用ならば永く置くのも宜い、而して先刻も申す如くツン〳〵刺戟する瓦斯が附いて居りますから、此瓦斯をパッパと拂ひ落しまするか、或は外にでも出して置きまするも刺戟性の嗅氣は去つて了ひます、ソレで全く消毒が出來たので有りますから少しも危險の恐が無い、以上が物品の消毒法でありますが、斯う云ふ函が無ければ小さき室（西洋間の如きを最も適當とす）でも宜い、併ながら斯う云ふ函が有れば其方が便利で宜しうございます。

次に室内の消毒で有りますが、室内の消毒は例ねば八疊の間を消毒するには此藥を一「ポンド」遣へば宜い、其仕方は此消毒燈を燃して室の内に入れてさへ置けば宜い、さうして二十四時間密閉して置くと悉く消毒が出來ます。日本造の座敷は障子・襖の間から有効瓦斯が逃げて了う恐れが有りますから、間隙を紙で張り、相成べくは雨戸も締めて八疊の間に藥を二「ポンド」も燃して、後二十四時間密閉して置けば消毒が僅かに出來ます。從來の室内消毒法は額も取除け襖も疊も取つてしまひますが、此消毒法は額でも幅でも其儘にして宜いので餘程便利で有ります、丁度去年の何時比であつたか、前の總理大臣の松方伯が鬚を御剃りになつて過つて剃刀で御切込みになつてソレからして丹毒といふ病氣に御罹りにおつたことが有ります、其時分に私が依賴を受けて參つて消毒を致

消毒に就て

したことが有りますが、その時にも夜具、蒲團、衣服等も悉皆其儘にして消毒をしたが何の事も御座いませぬ。其外にも外務大臣の官舍でも實驗を致しましたが、誠に都合好く參りました此消毒法が大分便利でありますからして漸々流行する有樣で御座います。此消毒燈があれば銘々の家で勝手に消毒が出來るから誠に便利であります。加之此消毒燈があれば誰れにても私立消毒所を立て消毒の營業をなすことも出來るので益々便利であります。これはなか〳〵面白い考へで有りまして、物品を自分の方に引受けて消毒をする所謂引請消毒と云ふのが一ツ、モウ一ツは患者の家に器械を携へて往ッて消毒をすると云ふ新らしい方法で有ります。從來は絶えて左樣のものが無い故消毒をするといへば、深川に在る警視廳の熱氣消毒所に遣るより外仕方が無い貴重の物品、高價の物を人手に渡すのは快くはない、殊に破損の箇所でもあれば甚だ困るけれども已むを得ないから此處に遣ッたのである、處が私立消毒所でするのは箇樣な函を拵へて之を取くずせる樣に造り、之をバラ〳〵にして荷車に載せて依賴者の家に往き、貴重な物品高價の品を家人の目前で叮嚀に安全に消毒をするといふので、是れは大へんに便利な法であらうと思ふ。今日消毒の能く行はれざるは不便利であるからで有ります。然るを若し輕便に安全に消毒をされて而も物品は損じないと云ふことであれば、誠に結構の事故誰でも安心して消毒を依賴するに違ひない、是れまでは消毒法が不完全であるが故に、病者に觸れたと知りつゝ隱蔽する、ソレが爲めに傳染病が發した恐れが無い事も無か

ッたので有りますが、消毒法が便利で完全なれば隱蔽するには及ばぬ、病者に觸れた者は少しでも消毒を充分にして貰ッて安心をしたいと云ふ心になるから消毒法が今日より完全に行はれて危險もなく、病毒傳播の恐れもなくて大へんに都合の好い事と私は思ひます。既に右樣の私立消毒所が東京と大坂に各々一ヶ所出來ました東京のは淺草松葉町にありまして私立東京瓦斯消毒所と云ひ大坂のゝは日本瓦斯消毒合資會社と申ます。あまり長くなりますから極く摘んで申しましたが此消毒法は病毒撲滅の傍らにモウ一ツの効用が有る、ソレは何かと云ふに細菌は弱いもので死にますがソレより大きい蟲を容易く殺すことが出來る、往々世間で困ります衣服或は毛革類に虫の附いて困ることが有ります、從來は箱詰にして樟腦で蟲を除けて居ッたが、ソレ等の物を此瓦斯に觸れさせますと、一向物が傷まんで輕便に蟲を殺すことが出來る、而して直ぐに用ひるならば前に言ふ通り瓦斯を拂ッて了うが宜いが、簞笥に仕舞ッて置くには瓦斯の附いた儘仕舞つて置くと一年中安全に虫を防ぐことが出來る、其外書籍、幅物、古人の書畫等の立派なものを虫が喰ひ散して困ると云ふ樣な事が有ります、其外虱、蚤或は南京虫とか云ふやうなものを殺すことが出來ます。而して是れは大きい虫で有りますから、黴菌を殺すやうな譯には參りませぬ、先づ虫を驅除するには此函ならば此「メチールアルコホール」を二「ポント」程は遣わねばなりません。

新式の消毒法幷に其使用法効用等を掻摘んで申せば右の樣な次第で有ります、終に臨んで此消毒燈

を實地に遣ッて見まして御覧に入れます。

新瀉文會講演

●血清療法に就て

田代亮介君

本療法に就ては近來大に研究したる爲め漸々其歩武を進めつゝあり血清なるものは血液を容器に入れ置くときは凝塊と透明なる液との二層に分るべし其透明液を血清と云ふ而して其血清をたとへば虎列拉若くは實布的利亞に罹りし患者に皮下注射の方法を以て注射するなり之を療法とす然れども單純の血清を注射するにはあらず虎列拉患者には虎列拉血清を以てし實布的利亞患者には實布的利亞の血清を以てせざれば其功なきなり

本來疾病の治癒する所以のものは醫師の盡力與りて力ある如きも要するに患者の体力が疾病に勝つ丈けの力の生し來るに基因す血清療法も畢竟此理に基きたるものに外ならず乞ふ實布的利亞に就て聊か其方法を述べん

茲に一頭の馬あらんに之れに一定度に毒力を弱めたる實布的利亞病毒を注入して輕き實布的利亞病に罹らしむ毒力極めて弱きが故に一定時日に治癒す夫れより更に毒力の稍や強き病毒を注射し其全治するを待て又々前回より強き病毒を注射す斯の如く實布的利亞病に罹らしめては治癒するに再三而かも其都度漸を逐て毒力の強きものを注射するときは遂に其馬の血中には能く實布的利亞病に勝つの力を生するなり種痘も此理に近し元來天然痘も種痘も同一の病素なれども痘毒を一旦牛の身体を經過せしめ其毒性を弱めたる後に人体に種ゆる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

か故に人体に感ずるの度强からず而して能く人の血中に抗毒力を作るを以て天然痘流行するとも之に感染するの憂なきゝ尤も種痘して血中に生せしめたる抗毒素も永久保持すべきにあらざるが故五六年を經て更に種痘せざるべからざるなり此種痘と同じく馬の血中には十分に抗毒素生じ居るが故(十分に抗毒素の生じたる動物を免疫動物と云ふ)其血を採りて血清を製し之を實布的利亞患者に注射するときは其患者は此血清によりて病に勝つの力を得遂に全快するなり

此理を以て種々の疾病に血清療法を試みつゝあれとも現今信用すべきものは實布的利亞血清虎列拉血清等なりとす皆樣の愛兒若し實布的利亞に罹るときには躊躇せず速かに本療法を施さるべし

而して誤て實布的利亞にあらざるものに血清を注射するとありとも決して害なく只た時に或は多少の發疹を生して二三日間痒感あるのみ

尙は一言を要するは豫防注射法即ち未だ其病に罹らざる前に血清を注射し置くと是れ也勿論一回注射すればとて幾年も其効あるにはあらざれども其血清の力の保續する中は疾病に罹るとなし然して其有効期間は未だ明かならざるが故常に注射し置くも迂遠ならず例へば二人の小兒あり内一人の實布的利亞病に侵かれたるとき若くは近隣に患者發生したる時の如きは必ず豫防し置くと肝要なり北里博士は六十二名に豫防注射を施したるに二名は發病したれども極めて輕症にして全治せしと報告し置けり癩病肺病梅毒其他多くの疾病に對しても本療法の施行を研究中なり

衛生叢談

●妊娠心得草

夫れ夫婦和合して子生るゝは天施し地惠むの理にして定まりたる道なれば幾度も唯易々と生るべき道理あるに難產して苦しみ或は死するものあるは何の故ぞや妊娠十ヶ月の内保養あしければなり如何なるとを保養あしきという殊更に思はでも苦しからぬとを強ちに心にかけ願ふまじきとを強て願ひ或は物妬みぶかく物疑ひたゝす夫れに產の時如何があらんとの氣遣をさへ差加へて氣のむすぼるゝと限りなく身の起居も程よからず食物の撰みもなく衣裳も厚きにのみ過ぐる等を保養あしきと云ふなり

然らば如何なるを保養よきといふ心に思ふとなく怒るとなく恐るゝとあく產の時の事も天然自然に任せてきづかはず唯心の中常に靜にして苟且にも騷かすとなく身重りて苦勞なりとも常に良き程に立居働きいねたくともさい〳〵は寢ねず折々は晴れやかある所に於て遠方を眺めて氣をのばし心を慰め食事も何にても差出たる物強く冷へたる物強く熱き物いずれも飲み食はず第一常の時よりは扣へて過ぎざるやうに食するを保養よしと云ふなり保養よくて難產するは之れ天命と心得べし

或人問ふ貴人に難產多く卑しきものには鮮なきはいかんと富貴の人は心のひまあるまゝに產の時兎あらんか角あらんかとの氣遣多く爲めに氣塞がり血めぐらず親族知人の訪問多く贈物にて種々の珍物あれば心ず食し過ぎて胃腸を害す又妊娠中風に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

やあたらんと懸念して屛風几帳深く閉ぢて外を詠めて氣を晴らすともなくひたすら鬱氣をなす又病氣もなきに養生のためとて平凡の醫者が藥を勸めて却つてそこなひとなる等之れ貴人の難產にかゝる所謂なり卑しきものには此障害少しもなし朝夕の營みに心の閑暇なければ身のたゝならぬうち忘れて產の時の氣遣もなければ氣血の滯るべきやうもなし過食して脾胃にもたるゝ事もなし屛風几帳も立てねば氣鬱するとなく強く苦しむ病なければ藥ものまず之れ下臈の難產の少なき所以なり
凡そ天地の間に雌と雄とあるもの子を生まざるはなしされば鳥獸の難產して死するとありやそれは心にいはれぬ物思をせずして身の扱ひにも私を交へず巳れに相應して自然に任する故なり況んや人は萬物の靈長なれば天地の神明身にやどりて子を生まし賜ふ程に難產すべき道理はなきを心のもちやう身の扱ひともに良からざる故に難產はあるとなり然れば難產して死する人は我と我身を殺すなり憐れむべき事ならずや

懷妊とおぼゆる日より男女の交りかたく禁ずべし胎のありさま初めの一ケ月は一滴の露の如し二ケ月はその露少し色つけるのみ也斯樣の時分男女交りあれば其氣の騷ぎて胎消ゑ失せるとあり三ケ月ののちは形漸く備る故に胎は消へ失せざれども其子生れて身かたはに病多く心も暗く愚かなるものなり愼むべし

三ケ月の頃腹強く動くとあり藥少し用ひてよし誤りて胎を動かして落ちかゝるやうに覺へて痛み腰脇まで引つり小便しぶりて血下るときは藥を用ふべし

七八ヶ月は子其手を働らかす故に腹の中靜かならず病なくば藥を用ふべからず

懷妊の内身も心も安樂なるを必ずしも良しとせず勿論苦勞にすべきもわろし唯平生のありさまにて常に裁縫などする人ならば其事そのまゝ勤むべし身の勉めよく心にひが思なければ天地神明の御心に叶ふ故に其產易きのみあらず生るゝ子も知恵才覺必ず人に越ゆるなり

懷妊の内あしくすれば差出る病症は腹痛、血下り、胸へつき上り、身むくみ、子癇、痳病の類を起す是等はむつかしきやうなれども醫者藥のしるしを急がず眞實におもひ入て療法し病家にも心をせかずしてたとしつけて養生すれば多分は過ちなし何ほど病み勞れても心さへ正しく慥かなれば子をうみますものあり

產の月に入ても產の時をまつ思ひなく如何にも心を靜かにして日を送るべし當り月に生るゝもあり二タ月三月もちこすもあり

產氣つきて腹少しツヽ痛む時少しも心をせかず如何にも取鎭めて虫氣か冷へか食當りの痛みとかよく吟味してたゝるべき食事もせず虫にても冷へにてもあるまじくは醫者幷に產婆を呼びよせ容体は云ひきかせ先つ藥を用ふべからず唯其腹の痛みて堪へ忍び時を待つが肝要なり痛みやはらかなる内に產するもあれども大方は強く痛むものなり強く痛み目くらみ人をも見わかぬ程なりとも此程の痛を堪へずして子を持つ事なるべきかと思ひ定めて心強く耐忍する内にいけみの力もいらずして安々と生るゝなり若し痛み耐忍しがたしと身をもだゆれば人々驚きて種々合はぬ藥を用ひ產婆に腹をもま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せなどして腹の中亂るゝ故に終に難産となるなり
又産婦は左のみ苦しまざれども醫者と産婆が不功にて産を急ぎて時も至らざるにはやめの藥を用ひ强ていきみをたらさせ力を盡さするほどに子かへりもせざるに無理にいきまれ足を出だし手を出し横子逆子といふ物になりて大事に及ぶなり是等は皆こしらへて難産するといふものなり慎まざるべけんや
色好みの貴人は腹痛強きとても侍女にだも言はず此痛にて死なば死すべしと思ひて靜まりかへりて居るほどに頓て時至りて如何にも安く産あるなり
兎角産婦は痛を堪へかねる故に人を迷はし養生の道も違ひて惡性になりゆくものあり人が人の腹より出るほどに痛むまじきことにはあらず此苦ぞと思ひ定めて耐忍せぬは卑怯なり

痛み二三月も同じさまにて止まざる時は功者の醫者を撰みて藥を服用すべし心強く痛みを耐ゆれば難なく平産するものなり
腹をさすりたらば痛みも柔らぐべしと産婆言ふとも漫りに腹を壓迫せしむるなかれ
産所にある人産少し遲なはれば互に笑止顔して物をも高く言はぬやうなるは産婦氣遣ひして心弱り難産するものなり如何にも潤ほひ賑々しくして仮りにも氣遣ひせぬ体を見すべし
産の近づくに隨ひて力を付るとて繁く食をすゝめ産婦も食へば良きことと覺へて務めて食し反つて吐するとあり注意すべし
半産は産婦身の扱ひあしく食物の慎しみなく或は甚しく立腹し或は手の屆かざる所の物を取らんとして無理手をのべ或は力を叶はぬ重き物をもち

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あげ或は歩くとて躓き仆れなぞして腹筋を引き違ゆる故に月滿たずして落るあり

胎兒の手の出でたるは多く横產にして之はいきみを早くたてゝ急ぐが故にあるとなり產婆心靜かに子を壓し上げて引き直し生ましむべし

足の先づ出るは逆產なり產婦を仰臥に寢ねしめ出たる足を矢鱈に引くなかれ

產後には家內いかにも打靜まりて高聲に物をも言ふべからず大抵產前は家內賑はしかるべきを少し滯ふれば氣遣ひして色を失なひ靜まりかへる故に產婦もさては大事に及ぶかと力を落す產後は隨分靜まるべきを平產ときゝては人々嬉しさの余り上下高聲になりて家內靜かならず產婦もよろこばしきまゝに心騷立ちて血上るとあるものなり曰く靜めてよし二三日の中は夢など見て心騷げはあしき故に物語しなぐさめてさい〳〵は睡入らざるやうにするなり石を燒き酢にいれ又乾漆と言ふ物火にたきかいやかしめてよし

少しにても怒らしむると大きにあろし

食事は粥糜、薄き味噌汁、牛の乳、肉羹汁よし餅も少しはよろし產後の食に禁ずべきもの

梨子　梅實　桃、　杏　薑
慈姑　葛の粉　たで　生葱　韮
麵類　蕈　蓮根　いたどり　あけび
ひしは　鮭　鮎　鮓　なます
蜆　鴨　鳩　雀　兎
猪、　豕　犬　無鱗魚

◉衣服の事

冬の寒き時身体を温暖に保護致し又夏日炎天の際に暑氣を防ぐものは家屋であります此家屋は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

假令身体を保護するも直接に肌身に觸るゝものではなく唯霜雪雨露寒風炎熱の人体を侵すを防ぐ具でありまして一寸ある場所より他の所に參りますときに家屋を身に携へて行かれるものではありませぬそこで平常身体を被ひて外出するときにも携帯に便利で又取り換ゆるに雜作なく都合よく製られたるものは則ち衣服であります此衣服も東西其國風に隨ひまして種々の物質にて諸種の形狀に製造されます即ち歐羅巴、亞米利加、墺利亞、亞非利加等は袖のなき服を身に着け細き脚袴を佩き我日本國に於ては袖ある衣服を古來用ひ近頃文明開化の聖代となりてより便宜上歐州の衣服に則り袖なき服を着用するに至りたるは能く世人の識る所であります而して衣服の物質は各國種々の差がありますが多く獸毛又は繭絲、麻布、木綿等を用ひます以上のものゝ中どれが一番身体保護に宜敷やと申ますれば一寸御答を申すに困難であります何故でありますれば唯身体にばかり宜敷と申して少しも直段にかまはずば金持の人には大した關係はありませずとも中等社會以下のものにとりましては購求に難義でありますそこで直段が安廉て身躰の爲めになる物質を撰ばんと致しますから一寸御答はできぬわけであります世の中にて何でも安價で良きものは余りありませぬ故に比較的安直で身の爲めになる物質を一般に賞用するのであります一体人の体は此の中に生てて居ります間は晝夜の差別なく身体の外部を被ひまする皮膚より瓦斯体を排泄して居ります（尤も之は肉眼には見へねども）而して人身は夏冬を論せず常に攝氏寒暖計の三十六度五分より三十七度五分の体温を發生し

て居りますそこで冬の寒き時になりますれば身体の外部を取圍みれる空氣は冷へてきますするから身躰の發温を助くるために厚き服衣を着ねばなりませず其の暑き日には外圍の空氣も暖かくありますから自然身体の方で發温を節減します此時に暑いとて裸体で居ますれば炎熱の刺戟で身体を害せられますから薄くとも衣服を身に着けて居らねばなりませぬ言語を換へて申しますれば暑くも寒くも共に身体を保護致すには衣服が必要であります

絹の衣服は身体より發散する水蒸氣を吸収致しにくゝありますから假令高價のものでも良き品とは申されませぬ寧ろ木綿の方が宜敷あります

毛織とフラチル——は体より發生する温度を永く保ち發散する水蒸氣を能く吸収します功能がありますから先づ身体にとりましては宜敷やうに思はれますそれに衣服はなるべく度々清水にて洗ひ良く乾燥したるものが最良であります

◉痛風と急性關節僂麻質私との別

痛風とは尿酸性關節焮衝にして尿酸蓄積に因て發する所の疾病なり吾人常に運動適度なるときは身体の滋養と稱する所の蛋白質消化極度に達し悉く尿素に化して排尿するも運動不足なれば酸化作用不充分あれば尿酸となりて血中に鬱積し以て本病を發す故に此疾病は美食して運動不足又は飲酒過度の人に多し其發症は消化器障害則ち食思欠損神思抑鬱、胃部膨脹、痞硬、嘔吐、頑固の便秘等にして之に兼ぬるに尿量減少を以てす又た手足の小關節に於て發作性の劇痛を發し卒に關節硬固、肥厚、異形を呈す或は發作中發熱發汗するものあ

り而して其關節痛眞に僂麻質私と混し易く然れとも痛風は好で小關節を侵し且つ遊走せずして胃症を兼ぬ以て其異あるを辨ずべし而して此症多くは慢性にして時々急性の發作あり其頑固なるものは數十年に彌るも尙ほ治せざるもの多し

治療法に於て種々の藥劑ありと雖とも其効著大ならず故に世人多く治方を刺鍼に委ぬ刺鍼も其局部には決して行なふを禁ず而して肉食を禁じ多量の水を取らしめ關節焮衝を呈せば溫巴布を貼し綿花を以て患部を溫保し既に滲出を生ずる時は輕々摩擦法を行ない發作間は勉めて運動を勸むべし而して此症は心臟を侵すの憂あるを以て速かに醫治を乞ふべし

急性關節僂麻質私は現今傳病染中の一に算入せられ分裂黴菌に歸せらる而して前症痛風の症狀と大に類似するを以て之れと比較鑑別の辨を考へ茲に記せんとす此の疾病は常に感冒に誘起せられ殊に野外に勞働する壯年の男子に多く經過二三週より十二週余の差ありと雖とも多く急性とす其發症一二日或は一週間食思振はず時々發熱四肢掣痛を發し來つて關節赤腫劇痛を發するものあり或は俄然一回の寒戰又た數回の惡寒次で發熱をなし其熱三十八九度又は四十度以上に達し食思缺乏煩渴ありて便秘し一異臭の發汗あり又た時として粟粒疹を發するものあり是症退熱に際し屢々心の包囊又は內膜を侵し發炎するを以て常に熱の進退と胸內苦悶に注意し時々心音を聽取するを要す而して此症心臟病を兼發せさるものも心の第一音に鞴音を聞き第二音の重複を聞くとあるを以て屢々誤診して患者に驚愕を與へざるを要す唯發熱增進苦悶一

層を加へ心悸亢進するを考へ以て其合併症を判すべし

又此症の熱なくして骨節を侵し更に遊足せず又た心臓を侵ざるものあり之を慢性關節僂麻質私と云ひ屢々筋肉僂麻質私を兼ぬるものあり

●妊娠に適宜の運動をなさしむるの良否

適宜の運動は元より人体に有要にして又妊娠者にも必要なるとす故に家に在りては通常慣れたる家事を爲すべし又快晴の日には戸外に出て靜かに逍遥するが如きは最も勸むべきとにて是れに由て食欲を增し便通を整のひ精神を爽快になさしむる効力ありとす若し妊婦にして室内に閉居し安逸に消光するときには精神沈鬱、食機不振、便秘、不眠等を來たすべし然れとも過度の運動は反て害あり例令は山に登り坂を越し凹凸多き道に遠く歩を逞ひ砂礫の上に長く車に乘じ風雨を冒して外出し夜を深かし頻りに階子を昇降し強く身體を屈伸し或は重きを提げ荷を擔ひ馬に騎り舞を演ずる等總て身体を振動し腹に力を入るが如きは禁せざるべからず右等の運動は爲めに子宮の充血を起し又其位置を轉じ以て墮胎早產の原因となるとあり故に交接も亦其度に過るか若くは粗暴に之を行ふときは爲めに同一の害を來たすの恐れあり殊に妊娠の末期に於ては之を禁ずるを良とす又輕易の運動たりとも身体の疲勞するに至るまで持長すべからず

●新潟產婆學校と助產婦新報

新潟市の重なる醫師、醫學士池原康造、仝長谷川實治、仝若杉喜三郎、仝和辻春次、竹山屯、田代亮介、仝設田決、仝水野欽の諸氏相圖り從來高橋辰五

郎氏擔任の產婆學校と合併成り淺田醫學士を校長に高橋辰五郎長谷川昌次外數氏講師となり盛に生徒を敎育して完全なる模範學校たらしめんとすと殊に高橋氏は從來產婆生の奢美に流るゝを慨し頭裝衣服に至るまで嚴密なる勤儉主義を採用せられしとの事にて今後同校に實行せらるべき由なれば產婆改良上に一大光彩を添ゆるに至らんか去五月二日新潟產婆學校內に於て始業式を擧行せられしが來賓二十四餘名淺田校長の挨拶創立者來賓講師等の祝辭等あり生徒も忽ちにして二十五名志願するに至りしとの事なれば將來必ず盛大なるに至らん

因に記す高橋辰五郎氏は今回日本助產婦新報を發行し大に日本產婆の進步を圖らる今第五號の寄送を受く助產婦恰當の新報と云ふべきなり

◉フォルムアルデヒート瓦斯

此瓦斯は酷烈猛惡なる傳染毒素に對し其消毒力極めて强大なるは勿論消毒後如何なる品物も毫も變色變質することなしといふ今や私立東京瓦斯消毒所は淺草區松葉町八十八番地に設立し消毒方法は外來部と巡回部とに分ち巡回は各家に就きて行ふものなれば極めて便利なりとす尙詳細は本誌上田原製藥士の講演及卷尾の廣告等により知悉せらるべし

附記 從來慣習上產婦は產ボロと稱へ分娩時に用ゐたるも往々消毒せさるが爲めに產蓐熱等を牽き起し大事に至るものあり該消毒所は此等の產ボロに對しては相當割引をなして依賴に應じ殊に本會々員には特別の割引を以て其消毒に應すべしとのことなり

◎人體に要する食鹽

人體に要する食物の分量を定むるには種々の區別を立さるへからす即ち之を左に略說すへし

人體を裨補するに必須なる食用の量を定むるに二般の別を以てすへし一は人體を毀傷するに至らす只其性命を保持するに足るへき最少量に就て之を說き一は種々の勞動によりて身體諸器より排泄する所の炭素及ひ窒素の分量に就て之を論す

(第一)總て健全強壯なる人は一年間七百乃至七百五十磅の固形食餌(乾きたる量に就きて算するもの)を費すと云ふ此量は即ち一日の量殆んと二磅に當るへし而して水(單水及ひ他の食物と抱合する水分の分量は一月に殆んと五磅半を要するものとす若し日々の食量之より減するときは性命を保維すへからすエイチ、レセビー氏の實驗によれは英國の罪囚中に一日の食餌麪包一磅と適宜の水とのみを與へしに三日を經て其體の重量三磅を減し精神頗る衰憊して餓死に至らんとするの徵候を顯はしたりと云ふ其麪包一磅中の營養分を計算すれは含窒素物一弖と三分含炭素物八弖と八分を含む即ち炭素の量は千九百七十五瓦にして窒素八十八瓦とす又倫頓府の貧民裁縫を職とする婦人に於ては之を平均するに一日の食量麪包一磅半と「トリッピンク」一汚す而して此等の婦人は僅かに其性命を保つことを得ると雖とも身體羸弱顏面萎衰して殆んと病者の容貌をなせりと云ふ右の營養分は含窒素物の量二弖にして含炭素物を澱粉として計算すれは十四弖と七分に當る即ち炭素三千三百六十六瓦窒素百三十二瓦なり又兵隊の犯罪者に含窒素食物三弖と八分含炭素食物二十二弖と二分即

ち炭素五千九十二瓦窒素二百五十六瓦を日々の食料として僅かに數日間獄中に支給せしに其罪囚多く其體の重量を減したり右等の罪囚には成形物質(含窒素物)四瓩と七分燃燒物質(含炭素物)二十七瓩と八分即ち炭素六千三百六十二瓦窒素三百十七瓦を增さゝるへからす何となれは其身體の減量は右の營業不足の割合と殆んと一致せるを以てなり實にドクトル、チリスチリン氏の說に據るにペルスノ牢獄に在る囚徒日々の食餌は成形質六瓩即ち窒素四百四瓦燃燒物二十五瓩即ち炭素六千八十二瓦なり然るに之を前の罪囚に與へし食餌に比すれは其量少しく多し(含窒素物九分と含炭素物五瓩と六分を增加せしもの)と雖とも此牢獄にある囚徒は一般に衰弱して其力は獄裏飲用水喞筒を上下するにも堪ゆると能はすと云ふ

輓近巴里の籠城中糧食殆んと窮乏し日々每人に配當する食料は麪包(小麥三十分米三十分裸麥二十分燕麥二十分より成るもの)三百瓦蘭馬即ち四千六百二十九瓦肉類三千百瓦蘭馬即ち四百六十三瓦に減節せりと云ふ此食餌の全量は乾燥含窒素物一瓩と四四即ち窒素九十四瓦澱粉に改算したる乾燥含炭素物十瓩と〇一即ち炭素二千二百三十四瓦なり斯の如き食餌にては決して其生命を長く保持すると能はさるものとす是より前佛國政府は糧食支給の匱乏に至らんとを苦慮し人體必須の食量を巴里府中の重立たる醫士に商議せり而してドクトル、シー氏は命を奉して衆庶を醫學校に集め之か爲めに講議を開きたり其講說したる要領に大人日々の食量は左の如くなし得べしと云へり

牛肉　百瓦蘭馬　(千五百四十三瓦二凡我二十五匁七分二釐)

鹽藏牛肉　二十瓩聞馬（三百八瓦六分四釐余凡我五匁一）
麵包　百五十瓩聞馬（一万千五百七十四瓦三二匁九分余凡我百九十分）
鹽藏豚肉　五十瓩聞馬（七百七十一瓦六八分六厘凡我十二匁）
植物　五十聞馬（同　同）

右の全量は乾燥含窒素物三瓩と一四即ち窒素の二百三十五瓦澱粉に改算したる含炭素物十八瓩と五三即ち炭素四千二百四十一瓦を含蓄す然れとも此加量は只性名を保持するに足るべきのみにして通常の起居動作の外神身を勞役する事業を執ると能はざるものとす

●東京府民の飲食する牛乳と獸肉

其身体營養の効あると其臭氣が追々人に慣れしとよりしてさしも或部分には忌み嫌はれし牛乳も今は販路餘程擴まりしも倘は府下十五區八郡にて其搾取所は三百一、其受賣所は三百八十四、乳牛は三千四十六頭にして最近一ヶ月の搾額二千百石一斗一升五合に過ぎず然れば一頭が一ヶ月に產出する乳の量は六斗八升九合四勺にして一日二升三合弱にわたり牛乳一合を四錢と假定せば一ヶ月搾量總額は八万四千四圓六十錢となるが東京府の現住人口を百九十万とすれば廿七人强にて一合を飲む有樣となるなり但し洋食の材料、アイスクリーム等に用ひらるゝものも尠なからざるべければ個人が其身体の營養にとて用ふるは愈よ尠なきに至るべし而も其搾出額を廿四年に比せば九百五十七石餘を增し廿八年に比するも四百六十九石餘を增すに至れり又東京共有、田中町、元子安、原町等の屠場にて屠殺し東京人の食餌に上る獸肉一ヶ月の總額は牛肉四十七万二千六百八斤（千三百八

十四頭）馬肉十二万四百廿一斤（四百八十二頭）豚肉十万四千四百四十六斤（八百七十六頭）にて東京人は毎日九十頭の獸を食ひ居る事なるが一人の食量に割當れば二匁弱に過ぎず即ち肉一片位しか口に入らぬ勘定なり此外諸種の肉類の鑵詰は外國及び神戸、廣島より多く府下に入り込み横濱より少なからざる牛肉入り來れど素より府下の附近にて屠殺する其半ばにも及ばず詰り東京人は毎日平均一匙の牛乳を飲み一片の獸肉を口にし居る有樣とあるなり（萬朝報）

●寢室の注意

近着の米國「オヒロ」新誌に曰く凡そ家宅中厨房を除ては寢室ほど人の健康に密接の關係を有するものはあらず何んとなれば人は二十四時間中六時間或は八時間寢室中にありて其睡眠中は躰力薄弱にして從て諸種の疾病に冒され易ければなり人の習慣として終夜寢室に點火するものあれども斯は最も謹むべきことなり斯くの如きは空氣を汚穢ならしむるのみならず眼病を發するの誘因たり人は暗室に在てこそ熟睡を得其結果として眼を休養し得べきを以てあり、又寢室には或る温度を要すると同時に一定の空氣を要するが故に温度を失はざる範圍内に於て通氣法を設くべし夜中窓を開きて睡眠するは夫れが爲健康を害するの虞なきのみあらず市街雜沓の地は其塵埃の發散少からさるに依り却て夜中の空氣を以て健康に適するものと云ふべし但し直接に外氣を呼吸するよりも室内の障害物に觸れて後鼻口に達するを最も安全とす又寢室は日々開放して日光に當らしむべし細菌は日光に照さるゝときは其生を滅し或は衰弱するもの

なればなり、蒲團の類は日々戸外に於て乾燥すべし、裝飾物は其形大きるものを置くべからず、敷物は可成塵埃の付着し難きものを選むべし、窓掛の如きは薄く滑かなるものを可とす云々

◉健康と食物

食物は人躰の健康如何に依りて適否するは固より其所なり多年學者の經驗論議するところに依れば人の健康を助くべき食物は既に其種類に於て幷に性質に於て判明せるものゝ如し然れども是れ一般の通則のみ其詳細に至りては一個人の健康の度如何んに依り悉く相異らざるべからず例之は牛乳は人の健康に適するものとして一般に信ぜらるゝも之れを飲用して其利を得る能はざるものあり又乾酪は勞働者には其價安く且健康を維持するに必要缺くべからざる食品なれども之れが毒に中りて病を發するものさへあり蠣の如き蠻苺の如き何れも亦然りされども斯かることは除外例として認知せざるべからず即ち健康常ならざる人に依りて不時に生ずべき事實あるのみ

病後疲勞の時に於ては身躰滋養の缺乏に依り其營養を給すべき食事を欲すること常なり斯かる場合は滋養分に富むと同時に消化速かなる食物を喫せしむべし、槪して病者には固形の食物よりも流動の食物を與ふるを可とす殊に發熱諸症には牛乳を與へて大効あり、尙は之れに「ペプシン」の最小量を加ふれば一層消化力を增すべし、又牛乳は發疹窒扶私患者に與へて屢ば大効を顯はしたる事例あり猩紅熱、神經諸症其他營養の不足より生ずる諸病患者は牛乳より其缺乏を補ふの外亦良法なるべからず、牛乳は患者の元氣を回復し腸を調へ睡

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

眠を促すの特質を有す、肉汁、麥粥の如きも亦牛乳に次てこれに等しき効あるものとす

◉脂肪質の食物に就て

脂肪は通じて良食にあらずとは殆んど一般の想像あるが如し然れども是偏見たるを免れず、身躰をして健全に保持せんとせば或る分量の脂肪を喫すべき必要あり只其料理法等に關しては大に注意すべきもの無かるべからず彼の煮沸せる動物の脂肪を菓子、麪包の類に塗布し又は魚鳥肉等を「フライ」として食するが如きは其物の消化不良なるのみならず、胃中の他のものをして等しく其消化を妨碍するを以て假令之れを食するも決して多量に喫すべからず今動物植物二者の脂肪孰れか消化迅速なるべきやと云はゞ少なくとも煮沸せざる以前のものは前者遙に後者よりも消化遅緩なり、由來食物は調理を加へたるものは調理せざるものよりも消化迅速なるは殆んど一般の法則なれども肪脂は之れと正反對の結果を示せり而して何れより得たる脂肪は最も身躰に益あるやを問はゞ第一「クリーム」なり之れに次て胡桃、穀類、豆類の脂肪は胃を害すること稀れにして腦髓、神經等に利益を與へ其他强壯の効を有すると少なからず、牛酪は其性質として無害安全のものに屬すと雖も其精製を欠くものは危險多く又其精製せるものは廉價ならず富者にあらざるよりは日常食用に供せんとすることは難し殊に其製造粗濫なる時は腐敗に陥ることゝ牛乳よりも速かなり(大日本私立衛生會雜誌)

質疑應答

會員　たか子

問　鷄卵より梅毒結核其他の病毒を傳染することありや

答　鷄卵より天然直接に梅毒結核等を傳染したることなし但し卵の殻などに病毒の附着し居たる場合に此限りにあらされども天然に卵子の黄味若くは白味の中に是等の病毒を含み居ることなし

問　酸類若くは阿片イヌホウヅキ等の中毒の場合には如何に處置すべきや

答　凡そ中毒したる時は直ちに醫師を招くべしと云へども中毒の知れ居る時は醫師の來る迄に相當の處置を爲すも又緊要なり第一直ちに毒物を嘔吐せしむるにあり其法油と微温湯とを飲ましめ（但し醋酸銅若しくは燐の中毒には油類を用ゆべからず）指或は羽毛を以て咽喉を刺戟し多少の嘔吐を得ば次に水若しくは牛乳を出來得る丈け澤山飲ましべし

硫酸、硝酸、鹽酸、等の中毒には白亞或は（マグチシヤ」を水に溶したる者、石鹼水及牛乳を與ふべし阿片「モルヒ子」等の中毒には多量の濃厚なる黑珈琲、酸味のもの及赤葡萄酒を與ふべし「イヌホウヅキ」の中毒には直ちに嘔吐を爲さしめ冷水を頭に灌ぎ次に「レモン汁」珈琲、水等を與ふべし

會員　せい子

問　嬰兒の起臥に就て一般に注意すべきことを問ふ

答　之は嬰兒の榮養等につきて幾分か斟酌するも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のなれ共生後三四ヶ月の間は床の中にても抱く時に於ても時々其位置を左右に轉ずるの外始終これを安臥せしめ强て起座せしむべからず而して已に三四ヶ月を經て小兒自其頭を擧げ背を伸ばして起座せんことを要むるが如き摸樣あるに至らば薄團にて其前後を圍み溫かに包みて以て起坐せしむるは可なりと雖ども項背の力未だ充分ならざるが故に久しきに過るは害あり

小兒生れて十日も經れば氣候溫和なる時少しづゝ外に連れ出だすは害なけれ共風雨寒日には決して室外に出だすべからず

小兒を運ぶには之を手に抱くか或は守籠に入れ三四ヶ月より以後に至れば動搖せざる車に乘するも亦甚だ良し人背に負はしむるが如きは爲めに小兒の胸腹を壓迫して其發生を害するとあるべし況んや道理を辨へざる少女に負はして頭を垂れて眠らしむるは實に危險と云ふべし其他身体を動搖して軟き腦を震動せしむること尤も危きことの極なり宜しく親たるものは注意せざるべからず

大日本婦人衛生會記事

六月四日第一土曜日午後一時より來會員一同神田區和泉町一番地東京衛生試驗所を觀覽せり當日は同伴者及び近傍女生徒の一時に參集せし爲め場內立錐の地なきまでに至り非常に困雜を極めたりき所長田原氏は種々懇切に指導せられ會員一同には技手丸山長四郎君各所各室を案內せられ實驗によりて一々說明せられ階上にては本多氏田原氏發明に係る消毒燈の實驗を示して其有効あるを試驗せらる次に福地氏は牛乳の良否に就き實驗によりて

說明せられ次に丸山技手には多摩川神田兩上水に就き其良否水道改良の必要等に說き及ばされ終りて一同休憩觀覽を終り一同退出せり試驗所參觀の記は他日詳細に縷述すべきも就中階上第一室にある保健食料摸範は衛生上完全不完全食料を各々實物の摸型を以て植物性動物性の區別をなし獻立を作りて一々其分拆表を揭示せるを見しか一目瞭然にして大に會員をして珍奇了解し易からしめたり一同散會せしは凡四時半頃なりき

廣告

本誌原稿寄送者川上雅壽氏は今回松山病院へ赴任に付後任は大學助手の黑田玄溫氏に依賴擔任依托せり

●入會者

●贊成員小林延之助君の紹介により
牛込區市ヶ谷仲ノ町川十九番地　特別會員　四屋好子

●會員大關和子の紹介により
神田錦町三丁目二番地　寺田りつ子
仝　竹内とみ子

●地方會員蕪澤術野子の紹介により
長野縣公立長野病院　小林もよ子

●地方會員高梨たね子の紹介により
相州藤澤大坂町字坂戸町　寺田愛子

●地方會員中島鉞子の紹介により
岐阜縣山縣郡谷合村百十八番戸　高原じやう子

●事務所へ申込により
小石川大塚辻町養育院　松井さた子
本郷醫科大學第一院　堀かた子
牛込築土八幡町五番地　松井喜伊子

●轉居

牛込區山吹町八番地へ　橋本ちせ子
長野市縣町四十六番地へ　安田小鹿子
愛知縣丹羽郡太山村　佐野英子
麴町七丁目二十番地へ　近衛もと子
麴町富士見町一丁目　金子家壽子
麴町永田町二丁目七番地へ　兒玉志那子
神田錦町一丁目二番地へ　小篠なを子
四谷鮫ヶ橋南町へ　千田米子
芝田町一丁目十二番地へ　石河里子
麻布東町四十二番地へ　山地謙子

大日本婦人衛生會

本所之主義

酷烈猛悪なる傳染病毒素に對しフオルムアルデヒート瓦斯の消毒
力愈々强大なるは已に世の知了する處なり本所消毒すみ
の品物は變色せず變質せず被消毒品安全を保證す

○

貴重品の消毒方法は他に一もあるとなし

○

ころばぬ先きの杖春夏秋冬を問はず傳染病の有無に拘はらす
消毒の必要あり乃本所未發的豫防法に極力重を置く

○

用心豫備

内地在居

消毒物目錄

殿堂樓閣家屋寳藏寳庫劇場穀藏酒藏
毛布毛皮羅紗書畫卷軸其他

○

總毛織物 ○ 紛卷軸類 ○ 總紙類品

室内消毒を行ふへき要件

たとへ傳染病に非るも病人ある家は消毒を施す大必要
産前産後新居轉宅轉室病前病後郵便金子
不幸ありし屋室は勿論大必要
俗にゆかんの前も猶は大必要

所内別に出原に消毒燈販賣所を置く

衛生模範最新式

私立東京瓦斯消毒所

淺草區松葉町八十八番地

本部

前は池の妙音寺◉今は松葉舘跡

巡回所は各家に就て施行
（參殿見積を前陳仕）

外來部は本所に於て施行
（消毒手數料を即答申）

私立東京瓦斯消毒手數料

細　雜

三十一年二月來施行

本所の消毒は少しも物質に變化を與へす完全に消毒を終るを以て消毒後洗濯等の必要なし故に其手數の少なきと其比を見ず就中貴重なる裝飾にして功益莫大なり

家屋は室内廣狹、室數多少、故に一定し難し日本館、西洋館、共に實測の上見積を捧ぐと雖も
八疊　十疊の疊數に對し左の割合にて行ふ
但し賴意により勉めて便益法を撰ぶ
西洋館は　壹圓以上五圓　日本館は　貳圓以上　參圓

而して左の消毒を行ふを得べきものを此消毒料に準據す
宮殿、樓閣、寶藏、倉庫、蒸汽車、蒸汽船、米穀藏、酒藏、質藏、
大旅館、大劇場、大會席、大寄席、倶樂部、養蠶場、製造場、諸工場、

	十錢厘
毛布(全布)	〇、六〇
襯衣	〇、一〇
敷布	〇、二〇
枕(括り枕)(普通め)	〇、一〇
枕覆	〇、一〇
帶(男)角	〇、一〇
毛布(半布)	〇、三〇
綿入	〇、四〇
綿入羽織	〇、三〇
半纏(綿入)	〇、三〇
胴着(綿入)	〇、三〇
袷羽織	〇、二〇
袷半纏	〇、二〇
單羽織	〇、一〇
單半纏	〇、一〇
帶(女)	〇、一〇
ヘコ帶	〇、一〇
袖ナシ	〇、二〇
帽子	〇、一〇
頭巾	〇、一〇
袷衣	〇、三〇
單衣	〇、二〇
三布薄團	〇、五〇
四布薄團	〇、六〇
五布薄團	〇、七〇
二重マント	〇、八〇
犢鼻褌	〇、一〇
敷蒲團	〇、二〇
小夜着	〇、七五
蚊帳	〇、六〇
ツボン下	〇、一〇
小蒲團	〇、二〇
坐蒲團	〇、一〇
襟卷	〇、一〇
腹掛	〇、一〇
股引	〇、一〇
腰卷	〇、一〇
足袋	〇、一〇
洋手拭	〇、一〇
三布風呂敷	〇、一六
四布	〇、一八
五布	〇、二〇
敷物(大中小)	〇、四〇
外套(官服)等	〇、四〇
袷洋服	〇、八〇
單洋服	〇、八〇
抱卷	〇、六〇
薄團(不定ノ仕立)	〇、二五
二布蒲團	〇、四五
ドテラ	〇、五〇
チンチコ	〇、四〇
チンチコ半纏	〇、四〇
夜具	〇、八〇
肩掛	〇、三〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衛生會規則摘要

一凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

一會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込ある可し

但事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

一本會々員を分て修身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす

但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金二圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中書生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

一男子にして本會の主義を贊成する者は之を贊成員とす尤も會費は本會員に同し

一本會の集會は七月八月を除くの外毎月一回として通常第一土曜日午後一時より之を開く

一毎會學識經驗ある者を聘し講義演説を囑し本會々員の演説と共に之を筆記して本會雜誌に掲載し毎月各一冊つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす

一會員は家族の婦女子又は知己の婦人を本會々場に誘致して傍聽せしむることを得

一講義演説の際男子の傍聽を禁ずと雖も會員に緣故ある男子は此限にあらず

一會員又は會員外より金圓若くは書籍物品等を寄贈あるときは本會より謝狀を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

一會費は郵便小爲替にて東京下谷郵便局へ向け振出しある可し

但不得止場合には郵便劵を代用するも妨けなし尤も一割增とす

一入會員には會員證を附與すべきに付郵便にて申込の者は郵便劵二錢を添ふべし

一毎年三月九月の總會に於て會計の收支庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し

一至急規則の改正を要する事あるときは豫め會員に報して臨時に之を爲すことを得

一各地方にて發起者十人以上ある者は支會を設くることを得

但其規則は本會の規則に抵觸せざる樣起草し本會役員の認可を經へし

一本會の集會場は時々報知する者とす

一會費金は受領證を付與すべし尤も小爲替又は郵便劵にて納むる者は右受領證遞送費として郵劵二錢を添ふべし然らざれは受領證は送付せざるものとす

東京下谷區練塀町四十三番地

私立 大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治二十一年二月二十八日内務省許可

廣告

從來本誌には役員の協議を經たるもの丶外は廣告文掲載せざる内規に有之候處來七月以降賣藥廣告を除くの外は下欄の廣告料を以て**廣告掲載**の御依頼に應べすし

大日本婦人衛生會

廣告係

齒科診察

午前八時より
午後五時まで

東京日本橋本町二丁目十二番地

齒科醫 高橋コウ

本誌廣告料		
廿二字詰一行一回	金十錢	總て前金の事
半頁	仝 金一圓五十錢	
一頁	仝 金三圓	

尚會員の廣告若くはページ數回數等の多寡に應じ相當に割引を定むべし八月本誌に廣告掲載を望まるゝ場合には前以て仝月十日迄に御申込あるべし

明治三十一年六月十八日印刷
明治三十一年六月二十日發行

發行所 東京下谷區練塀町四十三番地 大日本私立婦人衛生會

編輯兼發行者 東京牛込區矢來町三番地 田中德三郎

印刷者 同 神田區小柳町十三番地 小高良造

印刷所 同 神田旅籠町貳丁目拾一番地 廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可毎月二十日發行

（定價金拾錢）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN